

LNx シリーズ仮想 COM ポート
ユーザーズマニュアル
Ver. 1.4

対象製品	
LNx-001	-
LNx-002	LNx-002e
LNx-003	LNx-003e
LNx-003M	LNx-003Me
LNx-004	LNx-004e
LNx-201	LNx-202


目次

● 改訂記録.....	1
● ご注意.....	1
● はじめに.....	1
1. 概要.....	2
2. LNX-VCP インストール方法.....	2
3. LNX-VCP アンインストール方法.....	5
4. LNX-VCP 使用方法.....	7
4.1. 設定手順.....	7
4.2. 仮想 COM ポート自動生成について.....	9
5. アプリケーションのダウンロード.....	10
6. 参考資料について.....	10
7. お問い合わせについて.....	10

●改訂記録

日付	バージョン	改訂内容
2014/12/19	1.0	初版発行
2015/03/17	1.1	対象製品を追加
2015/06/16	1.2	対象製品を追加
2015/08/07	1.3	対象製品を追加
2015/12/14	1.4	Windows 10 対応

●ご注意

 注意	1 本書の内容は、改良のため将来予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
	2 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一誤りなど、お気づきの点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。
	3 本製品の運用の結果につきましては、2. 項にかかわらず当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。
	4 本書に記載されている使用と異なる使用をされ、あるいは本書に記載されていない使用をされた場合の結果については、当社は責任を負いません。
	5 本書を無断で複製、引用、配布することはお断りいたします。

●はじめに

この度は当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 本マニュアルでは、LNX シリーズ製品に割り当てられた IP アドレス/ポート番号を仮想 COM ポートに割り当てて使用する方法について説明いたします。

1. 概要

LNX シリーズ製品に仮想 COM ポートを割り付けるために LNX-VCP 仮想 COM ポート生成ツール（ヒューマンデータオリジナル）を用意しています。また Lantronix 社製の Lantronix CPR (Com Port Redirector) などを使用することもできます。本マニュアルでは LNX-VCP 仮想 COM ポート生成ツールについて説明いたします。

LNX-VCP は、ネットワーク上の LNX シリーズ TCP/IP ポートを仮想 COM ポートに割り当てるツールです。TCP/IP ポートを通常の COM ポートとして扱うことができ、複数ポートの設定も可能です。

LNX-VCP の対応 OS は、Windows 10/8.1/8/7/Vista/XP です。

このツールは、製品に付属の CD または当社ウェブサイトからダウンロードができます。

ヒューマンデータの LNX シリーズを使用するときのみ利用することができます。

2. LNX-VCP インストール方法

OS が Windows 7 の場合で説明します。

1. 製品に付属の CD またはダウンロードしたファイルを開き “Setup_LNX-VCP_v**. exe” を実行します。

名前	更新日時	種類	サイズ
Setup_LNX-VCP_v16.exe	2015/12/14 11:58	アプリケーション	5,660 KB

画面は Ver1.6 のものです

2. ユーザー アカウント制御のダイアログが表示されます。【はい(Y)】をクリックしてください。



3. インストーラが表示されます。【次へ(N)>】をクリックしてください。



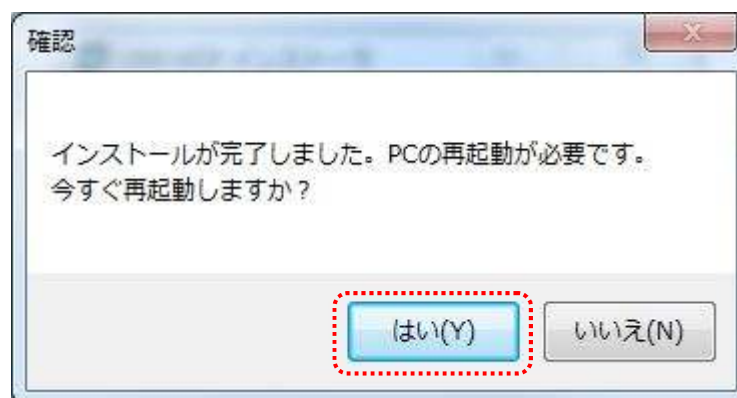
4. コピー先フォルダの指定を行い、【次へ(N)>】をクリックしてください。
標準フォルダ名は、“HuMANDATA”です。コピー先フォルダを変更した場合、【標準フォルダ名の付加(D)】が有効になります。クリックするとパスの後ろに“HuMANDATA¥”を付加します。



5. コピー準備の完了の画面が表示されます。内容を確認し、【次へ(N)>】をクリックしてください。必要に応じて“デスクトップ上にショートカットを作成する(D)”にチェックしてください。（デフォルトはオフになっています）



6. インストールが完了すると確認ダイアログが表示されます。LNX-VCP を使用するためには再起動が必要です。すぐに再起動する場合は【はい(Y)】をクリックします。



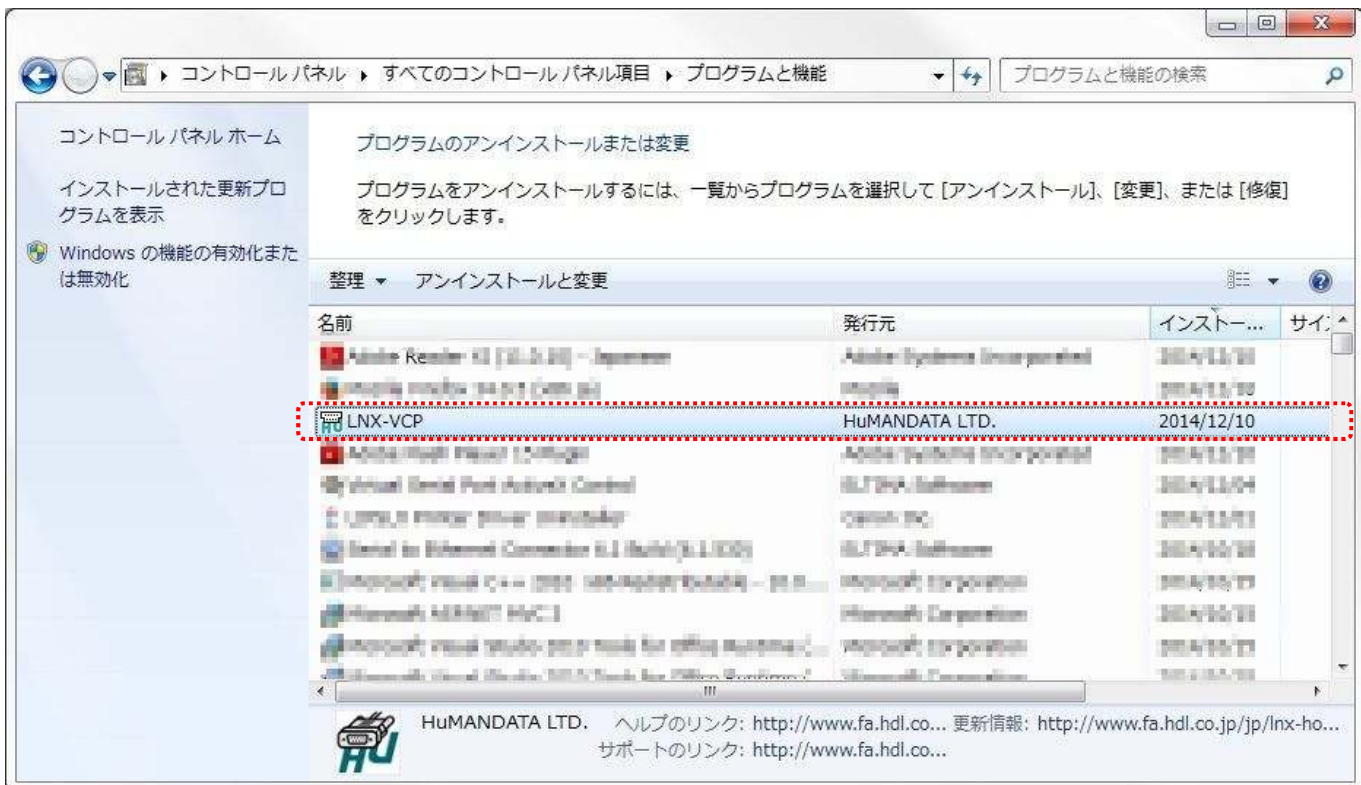
3. LNX-VCP アンインストール方法

OS が Windows 7 の場合で説明します。

1. コントロールパネルを開き、【プログラムのアンインストール】をクリックします。



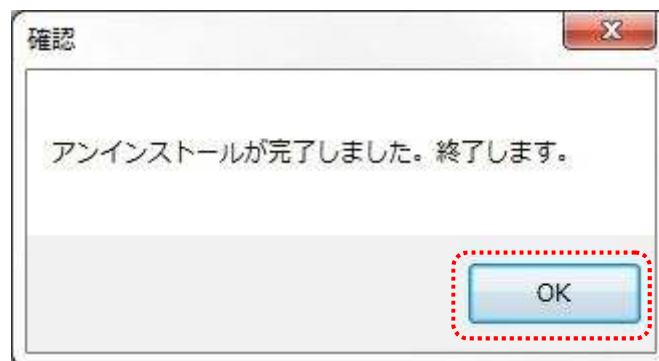
2. “LNX-VCP”をダブルクリックします。



3. アンインストールを行うかの確認画面が表示されます。【OK】をクリックします。



4. アンインストールが行われ確認ダイアログが表示されたら【OK】をクリックしてアンインストールウィザードを閉じてください。



4. LNX-VCP 使用方法

4.1. 設定手順

1. 割り当てする製品の IP アドレスを設定します。手動入力又はネットワーク検索を選択します。ネットワーク検索で複数見つかった場合は対象の IP アドレスを選択してください。

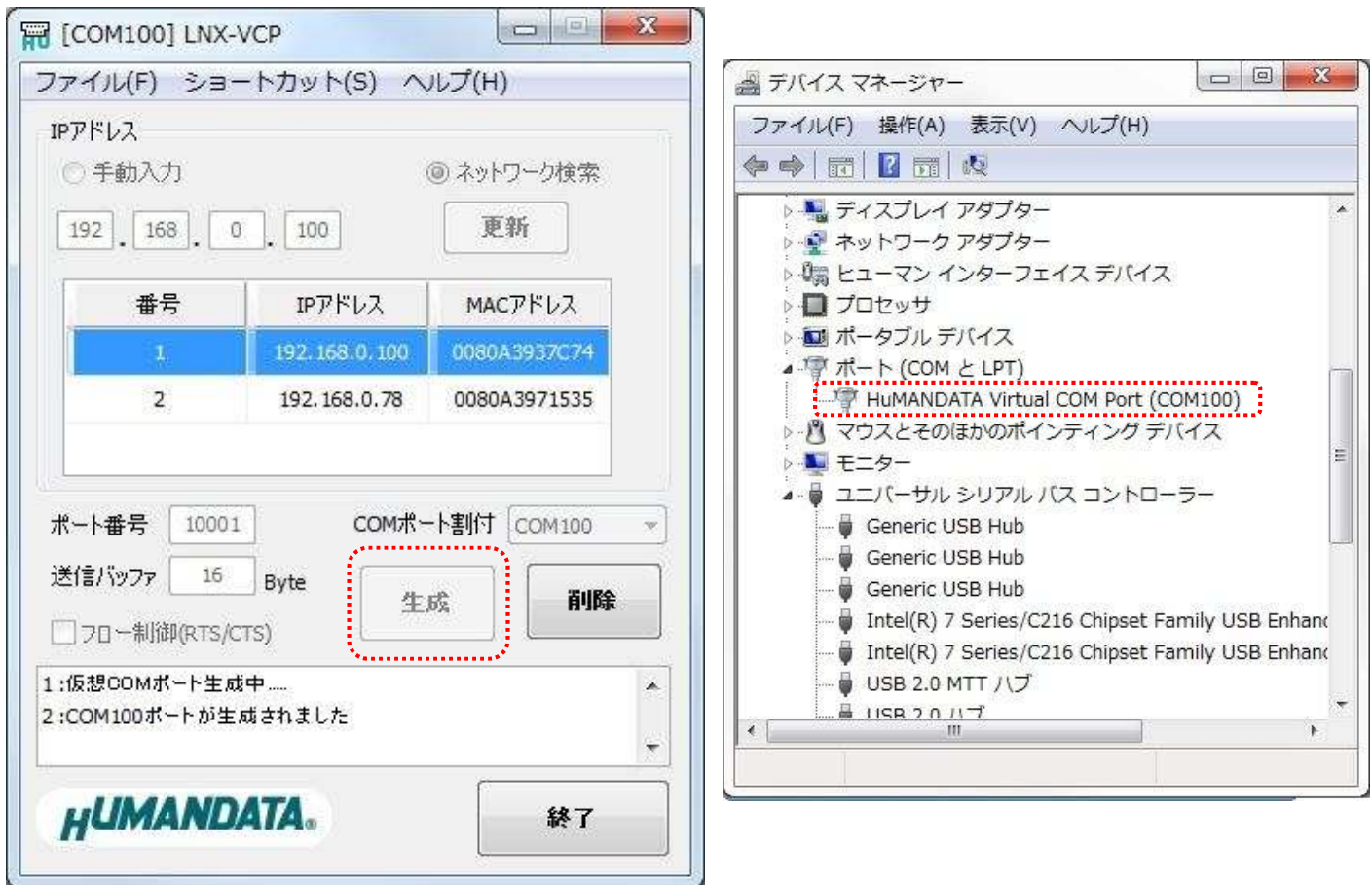


2. ポート番号、送信バッファ、フロー制御 (RTS/CTS)、COM ポート割付をそれぞれ設定してください。

	内容
ポート番号	LNX シリーズ製品に設定されているポート番号を設定します
送信バッファ	通常デフォルト設定の 16 Byte から変更する必要はありませんが、COM ポートを制御するアプリケーションの処理速度が遅くデータが正常に受信できない場合に値を小さくして調整します
フロー制御 (RTS/CTS)	COM ポートを制御するアプリケーションと LNX-VCP 間のフロー制御の設定ですアプリケーションで RTS/CTS のフロー制御を行っている場合にチェックします
COM ポート割付	生成する COM ポート番号を選択します

注意 空いている COM ポート番号を選択してください

3. 【生成】をクリックすると仮想 COM ポートが生成されます。

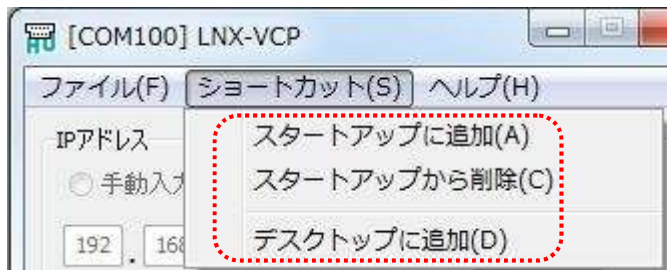


4. 仮想 COM ポート生成後は【ファイル(F) > タスクトレイに入れる(T)】をクリックしタスクトレイに入れてください。アプリケーションを終了すると自動的に仮想 COM ポートは削除されます。



4.2. 仮想 COM ポート自動生成について

仮想 COM ポートを生成している状態で【ショートカット>スタートアップに追加(A)】又は【デスクトップに追加(D)】をクリックすると IP アドレスや COM ポート番号などの引数付きショートカットが作成されます。



スタートアップにショートカットを作ることで Windows を起動した時に自動的に仮想 COM ポートが生成されます。

デスクトップのショートカットを実行することで自動的に仮想 COM ポートが生成されます。ショートカットから実行された場合は自動的にタスクトレイに入ります。

スタートアップから削除する場合は LNX-VCP に入力されている IP アドレスのショートカットを削除する方法と LNX-VCP で追加されたショートカットをすべて削除する 2 通りの方法があります。



5. アプリケーションのダウンロード

アプリケーションは下記よりダウンロードできます。

<http://www.fa.hdl.co.jp/jp/plink/lrx-vcpwebmanual.html>

6. 参考資料について

改訂資料やその他参考資料は、必要に応じて各製品の資料ページに公開致します。

<http://www.fa.hdl.co.jp/jp/lrx-suport.html>

ときどきチェックしていただき必要に応じてご利用くださいませ。
また、下記サポートページも合せてご利用ください。

<http://www3.hdl.co.jp/spc/fa-top.html>

7. お問い合わせについて

お問い合わせ時は、製品型番とシリアル番号を添えて下さるようお願い致します。

e-mail の場合は、SPC2@hdl.co.jp へご連絡ください。

または、当社ホームページに設置のお問い合わせフォームからお問い合わせください。

技術的な内容にお電話でご対応するのは困難な場合がございます。可能な限りメールなどをご利用くださるようご協力をお願いいたします。

LNX シリーズ仮想 COM ポート

ユーザーズマニュアル

2014/12/19 Ver.1.0

2015/03/17 Ver.1.1

2015/06/16 Ver.1.2

2015/08/07 Ver.1.3

2015/12/14 Ver.1.4

有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034

大阪府茨木市中穂積 1-2-10

ジブラルタ生命茨木ビル

TEL 072-620-2002

FAX 072-620-2003

URL <http://www.fa.hdl.co.jp>
